



# 町医者とコロナの一年

## ～かかりつけ医がやってきた事 これからやるべき事～



だな たくし  
産業医 田名 毅

首里城下町クリニック

産業医だよりでは、毎月私のクリニックで行っている 地域むけ医療講演会の内容を要約してお伝えしています。今月の地域むけ医療講演会 YouTube 配信は、かりまた内科医院 院長代理の狩俣 洋介 先生をお招きし、「町医者とコロナの一年～かかりつけ医がやってきた事、これからやるべき事～」というタイトルでご講演いただきました。以下のご講演の要約を紹介します。

ご視聴は QR コードもしくは当院 HP をご利用ください。



かりまた内科医院は、昭和57年 狩俣陽一先生が開業した浦添の内間にあるクリニックです。今回ご講演なさる洋介先生は琉球大学病院などで勤務し、4年ほど前からクリニックに専従されていらっしゃいます。陽一先生、洋介先生とも呼吸器内科を主な診療と考えていましたが、地域診療をしていく中で、地域には幅広い分野を担う必要を感じたと言います。

### 当院の地域における役割

- ・外来診療
- ・デイサービス
- ・地域包括支援センター
- ・居宅介護支援事業所
- ・グループホーム
- ・入院病床
- ・訪問診療
- ・小中学校医



今回、狩俣先生にご講演をお願いしたのは、1年ほど前のニュースで、医療用ガウンなど物資が不足する中でビニール袋をかぶり、車に出向いて鼻に綿棒を入れてPCR検査をしている

地域のニーズに一つ一つ応える事により、多機能な『かかりつけ医』となりました。

先生を見たことがきっかけでした。先生は今でもこのスタイルが簡便でベストだとおっしゃっています。

### 流行当初の発熱外来の診療スタイル



### 発熱外来の実績

2020年7月1日～2021年6月30日

発熱外来数	4825件
PCR検査数	3197件
抗原検査数	840件
陽性患者数	317名

### 年齢別発熱外来数・PCR陽性者数・陽性率の推移



狩俣先生がこの1年間、発熱外来で約4825人の患者さんを診察されたとのこと。1クリニックで対応する数としてはすごい数です。そして317名の陽性者を発見したとのこと。年齢別発熱外来数、PCR陽性者数、陽性率をグラフに示しています。20歳未満と働き盛りに多いことが分かります。高齢になるほど件数が減りますが、先生が目をつけていたのは陽性率も少ないということです。つまり**高齢者の新型コロナウイルス疑いには他の治療が必要な疾患が隠れている可能性が高く丁寧な診療が必要**とのことでした。

コロナ禍で注目されたオンライン診療に関して、先生は処方せんの発行、ホテル療養者の診察で活用されているとのことでした。

## 1. 慢性疾患とコロナ

私も患者さんを診療していて、健康勝ち組、負け組があると感じていましたが、先生は二極化という表現を用いて解釈されていました。目の前にいる患者さんがどのタイプか見極めてアドバイスする重要性を再認識させてもらいました。



### 慢性疾患とコロナ

**Good**  
家飲みしない人  
運動量が増えた人  
コロナをきっかけに禁煙やダイエットを始めた人



**Not Good**  
家から出なくなった高齢者  
家飲みする人  
ストレスのため、飲酒量や体重が増えた人

全体の平均でみると意外に悪くありませんでしたがそれぞれ個別でみると、改善している人と悪化している人と二極化しているようにみえます。ワクチンを終えたら、徐々に元の生活に戻していきたいと思います。

## 2. ワクチンへの取り組み

ワクチン接種や新型コロナ診療に精力的に取り組んだ理由を以下ように話されていました

- ・予想以上に集団接種に行けないという高齢者が多い。
- ・迷っているが、かかりつけ医でなら打つという方。
- ・身寄りがないため情報がなく、接種のサポートが必要な方。
- ・かかりつけの高齢者を7月中に2回目まで打ち終える事を目標。
- ・週250件前後。

職員総動員で接種を行いました。予約や、接種時のサポート、身寄りがない方の段取りのサポートなど、地域包括支援センターも職員が大活躍してくれました。デイサービスに通所している方の接種も早期に終わる事ができました。チームワークを確認できた、大変だけれども、やりがいのある業務でした。



当院では、診療をしながら、週162名(現時点)の接種を行っていますが、かりました医院では250名ほど、クリニックスタッフ総出でワクチン接種を行っているとのこと。その即戦力と団結力に頭が下がります。

## 3. コロナ禍収束に向けて町医者がやるべき事

- ① ワクチン接種 その後は運動習慣や健康生活を元に戻すようにしましょう。

風邪のような症状があればすぐに仕事・学校は休み、早めに検査を受けるようにしましょう。

- ② 町医者で完結するようなコロナ診療（診断、在宅フォロー、後遺症ケア）



先生のところでは PCR 検査は勿論ですが、抗原検査を活用しているとのことでした。PCR 検査と正誤率の検討結果では、抗原検査は感度 97.5%、特異度 99.6%。発症から 2~9 日であれば 15 分で結果がでる抗原検査もかなり有用な検査ということになります。インフルエンザと同様に抗原検査の積極的な活用を提案されていました。当院はかりました内科医院のように抗原検査まで行っていないので、今回のご講演は大変勉強になりました。2021年8月現在、若い世代を中心に感染が過去最大に拡大しています。ウイズコロナにおける診療体制のあり方を今後は当院も考えていきたいと思いました。

### 発熱外来での検査の徹底

- ・PCR検査 午前中に提出すれば、その日中に結果判明  
1時間で結果が判明する検査方法もある
- ・抗原検査 15分で判明（当院では 感度97.5% 特異度99.6%）

抗原	PCR		
	陽性	陰性	
	陽性	117	
陰性	3	717	720
	120	720	840

当院での抗原検査とPCR検査の比較

→これまで抗原で720人陰性とでた人のうちPCRが陽性で結果がくつがえったのは3人だけ  
抗原が陰性なら99.6%の確率で陰性（ただし発症から2~9日）

最後に地域における町医者の役割について、

「地域のニーズに答え、地域に生かされるかかりつけ医」と締めくくっていらっしゃいました。





# 第 209 回 首里城下町クリニック地域むけ医療講演会

テーマ：『心臓病でも元気に“できる”を増やす  
～心臓リハビリって何ですか？～』

日時：令和3年9月8日（水）午後7時～配信

YouTube 配信

講師：琉球大学病院第三内科  
医師 石原 綾乃 先生



首里城下町クリニック『働く人健康支援室』は、



産業医・内科医  
高血圧が専門です  
田名 毅

あなたの **相談窓口** です！

## 相談窓口

産業医は、あなたの職場とそこで働く人々の心とからだの健康を支援します。

★訪問日を設けている事業所の職員は、お気軽に訪問日をご活用下さい。

★クリニック内の『働く人健康支援室』では健康相談を行っています。  
事前にお電話の上、いらしてください。

★クリニック内で産業医との面談は診療の合間となりますが可能です。  
事前にお電話くださり働く人健康支援室で“産業医との面談”とお声掛けください。診察や検査の必要がない限りは無料です。

★その他、電話やメール相談も随時行っています。



保健師・産業カウンセラー  
キャリアカウンセラー  
認定産業看護師 田名彩子



認定産業看護師  
山城愛子

保健師・産業カウンセラー  
キャリアカウンセラー  
與儀雅代



## 連絡先

首里城下町クリニック 働く人健康支援室  
098-885-5000

携帯 080-4312-9200(田名彩子)

メール [sien@sjc.dr-clinic.jp](mailto:sien@sjc.dr-clinic.jp)(働く人健康支援室)

プライバシーは守ります。

お気軽にご利用下さい！